Walkman® Phone, Xmini
by Sony Ericsson

USBドライバ インストールマニュアル

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断では使用できませんのでご注意ください。
本書および本ソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、本書で記載しているシステム名、製品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMマーク、®マークは表記しておりません。

2010年1月　第2版
A-D48-100-**02**(1)

目次

■ 用語の説明

USBドライバ	パソコンに接続される周辺機器を、パソコンが認識や制御をするために必要なソフトウェアです。 「Xmini USBドライバ」がパソコンにインストールされていないとパソコンがXminiを正常に認識できません。
インストール	パソコンで使えるように「Xmini USBドライバ」を導入する作業や操作を指します。
アンインストール	「Xmini USBドライバ」が正常にインストールできない場合や、パソコンからXminiが正常に認識できていない場合に、「Xmini USBドライバ」を一度削除する作業や操作を指します。

はじめに

ここでは、「Xmini USBドライバ」(以下「USBドライバ」と略記します)をパソコンにインストールする方法について記載しています。Xminiを付属のUSBケーブル(試供品)と接続してご使用いただくためには、あらかじめパソコンに「Xmini USBドライバ」をインストールしていただく必要があります。

※付属のUSBケーブル以外に、別売の「USBケーブルWIN (0201HVA)」もご使用いただけます。

USBドライバの動作環境について

対応OS	Windows XP※/Windows Vista/Windows 7 (いずれも日本語版、PC/AT 互換機用) ※ Windows XP の x64 Edition は非対応となります。 ・上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。 ・上記OS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。 ・対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
USBポート	USB1.1 以上
携帯電話	Xmini ・Xmini以外の携帯電話にはご使用いただけません。
ケーブル	USBケーブル

ご利用上の注意

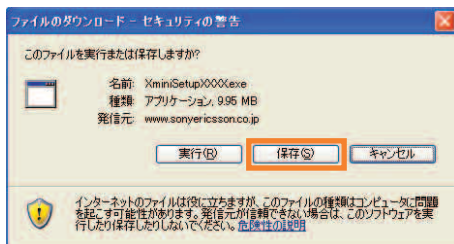
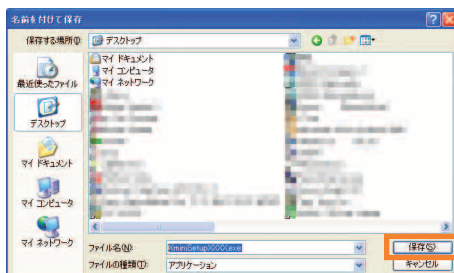
- 機器を PC へ接続した際に、COM ポート(COM3 など) が割り当てられます。 非接続状態では、本デバイスに割り当てられる COM ポートは存在しません。
- COM ポート番号は、使用する PC の環境により異なります。
- 携帯電話と通信中に機器を取り外さないでください。通信中のデータが失われることがあります。
- CPU の処理能力が不足している場合、通信速度が低下することがあります。
- 他の USB 機器と同時にご利用の場合、通信速度が低下することがあります。
- 本インストールマニュアル以外の手順では「Xmini USBドライバ」のインストールができない場合があります。

USBドライバをダウンロードする

Webサイトから「au Xmini USBドライバ」をダウンロードしてください。

1 「使用許諾契約」をお読みいただき、「同意してダウンロード」をクリックする

2 「ファイルのダウンロード」画面で「保存」をクリックする

注：ファイル名の「XXXX」はダウンロードするドライバのバージョンによって異なる４桁の数字になります。

3 「名前を付けて保存」画面で覚えやすい場所（デスクトップなど）を指定して、「保存」をクリックする

USBドライバをインストールする

インストールを開始する前に以下の項目をご確認ください。

- Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
- Windows で起動中のアプリケーションを終了してください。
- 古いバージョンの「USB ドライバ」がインストール済みの場合は、9 ページの手順で一度アンインストールしてから新しい「USB ドライバ」をインストールしてください。

! インストール完了までXminiをパソコンに接続しないでください。

1 ダウンロードした「XminiSetupXXXX.exe」をダブルクリックする

この時点では、Xminiをパソコンに接続しないでください。
準備中画面が表示されます。しばらくお待ちください。

※ インストーラの実行時に発行元が不明である旨が表示され、ユーザーアカウント制御（UAC）の確認画面が表示される場合があります。

注：ファイル名の「XXXX」はダウンロードするドライバのバージョンによって異なる4桁の数字になります。

2 内容を確認してから、「次へ(N)」をクリックする

ソフトウェア使用許諾契約書が表示されますので、よくお読みください。

3 「はい(Y)」をクリックし、パソコンにXminiを接続していないことを確認してから、「OK」をクリックする

インストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

4 「完了」をクリックする

接続を確認する

パソコンが「USBドライバ」を正常に認識しているか、以下の手順で確認できます。

1 パソコンに付属のUSBケーブルを接続する

2 Xminiの電源を入れ、待受画面を表示してから、USBケーブルを差し込む

（接続のしかたについては、Xmini付属の取扱説明書をご覧ください）

■「データ転送モード」を選択した場合

1 パソコンの「システムのプロパティ」画面を表示する

■ Windows XPの場合

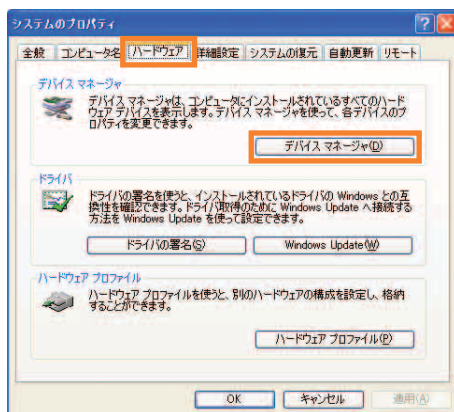
Windows の「スタート」から「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、）「システム」をクリックする

■ Windows Vista/Windows 7の場合

Windows の「スタート」から「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」をクリックする

2「デバイスマネージャ」画面を表示する

■ Windows XPの場合

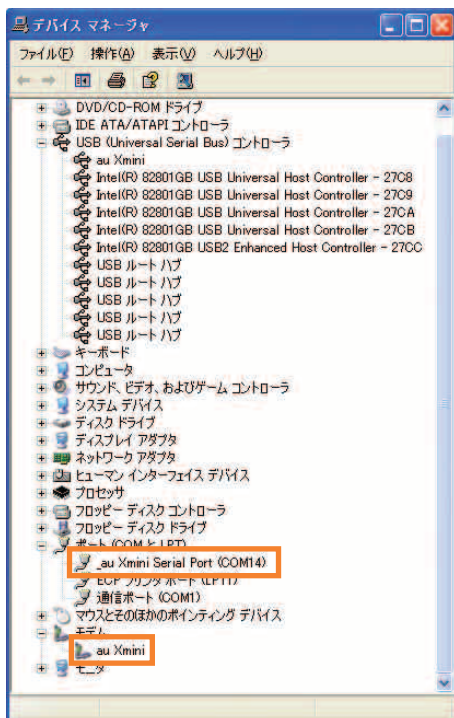
「ハードウェア」タブにある「デバイスマネージャ」をクリックする

■ Windows Vistaの場合

「デバイスマネージャ」をクリックし、確認画面で「続行(C)」をクリックする

■ Windows 7の場合

「デバイスマネージャー」をクリックする

3 「ポート(COMとLPT)」をダブルクリックして「_au Xmini Serial Port (COM＊)」が表示されていることを確認→「モデム」をダブルクリックして「au Xmini」が表示されていることを確認する

右画面のように表示されていれば正常に接続されています(＊はパソコンの環境によって異なります)。

- デバイスマネージャに表示されていない場合や「?」マークや「!」が表示されている場合は、USBドライバを再インストールしてください。(→12ページ)
- デバイスマネージャの「表示」設定が「デバイス(種類別)」以外に設定している場合は、上記のようには表示されません。
- ポートやモデムのCOMの番号はパソコンの環境によって異なります。モデムのCOMの番号はデバイスマネージャの「モデム」の「au Xmini」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「モデム」のタブをクリックすると見ることができます。

■「高速データ転送モード」を選択した場合

1 パソコンの「システムのプロパティ」画面を表示する

■ Windows XPの場合

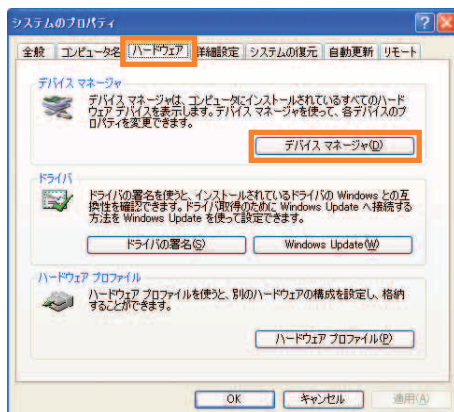
Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」→(「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、)「システム」をクリックする

■ Windows Vista/Windows 7の場合

Windows の「スタート」から「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」をクリックする

2 「デバイスマネージャ」画面を表示する

■ Windows XPの場合

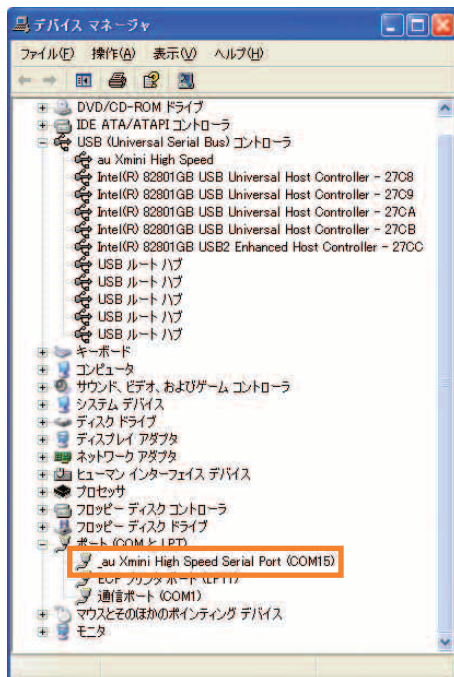
「ハードウェア」タブにある「デバイスマネージャ」をクリックする

■ Windows Vistaの場合

「デバイスマネージャ」をクリックし、確認画面で「続行(C)」をクリックする

■ Windows 7の場合

「デバイスマネージャー」をクリックする

3 「ポート(COMとLPT)」をダブルクリックして「_au Xmini High Speed Serial Port (COM＊)」が表示されていることを確認する

右画面のように表示されていれば正常に接続されています（＊はパソコンの環境によって異なります）。

USBドライバをアンインストールする

アンインストールを開始する前に以下の項目をご確認ください。

- Administrator(管理者)権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
- Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。
- アンインストール後は、必ずパソコンの再起動を行ってください。

! アンインストール完了までXminiをパソコンに接続しないでください。

1 「プログラムの追加と削除」/「プログラムと機能」画面を開く

■ Windows XPの場合

Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」を開き、「プログラムの追加と削除」をクリックする

■ Windows Vista/Windows 7の場合

Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」をクリックし、「プログラム」を開いて「プログラムと機能」をクリックする

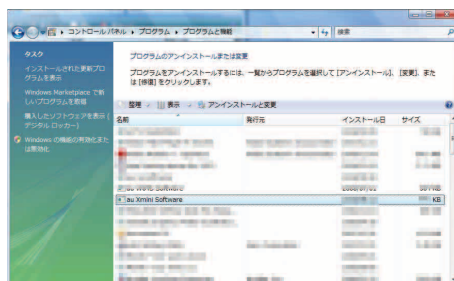
2 「au Xmini Software」を選択する

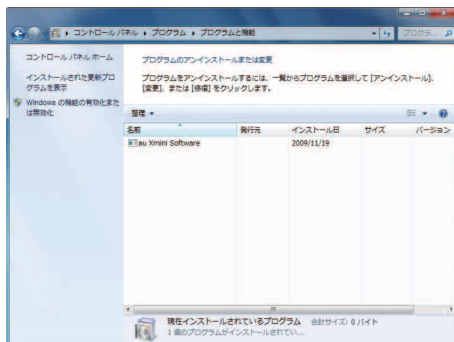
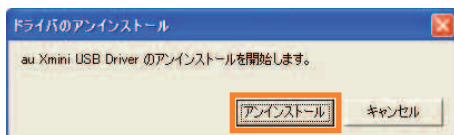
■ Windows XPの場合

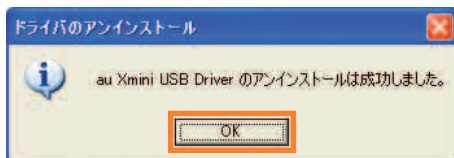
「au Xmini Software」を選択して、「変更と削除」をクリックする

■ Windows Vistaの場合

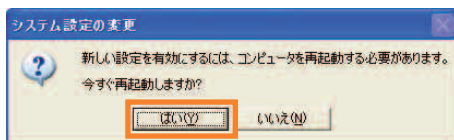
「au Xmini Software」を選択して、「アンインストールと変更」をクリックする

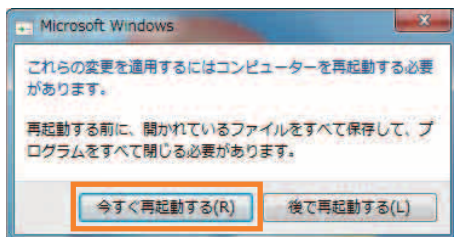
※確認画面が表示されたら「続行(C)」をクリックします。

■ Windows 7の場合

「au Xmini Software」を選択して、「アンインストール」をクリックする

3 パソコンにXminiを接続していないことを確認してから、「アンインストール」をクリックする

アンインストールが実行されます。しばらくお待ちください。

4 アンインストール完了後、「OK」をクリックする

5 パソコンを再起動する

■ Windows XPの場合

「はい(Y)」をクリックする

■ Windows Vista/Windows 7の場合

「今すぐ再起動する(R)」をクリックする

USBドライバを再インストールする

「USBドライバ」が正常にインストールできない場合や、パソコンからXminiが正常に認識できていない場合には、9ページの手順で一度「USBドライバ」をアンインストールしてから再度インストールを行ってください。

インストール／アンインストール中のご注意

「USBドライバ」をインストールまたはアンインストール中に、「1628: スクリプトベースのインストールを完了できませんでした。」というメッセージが表示される場合があります。その場合は、以下のことをご確認ください。

原　因	対　処
「XminiSetupXXXX.exe」を2回以上ダブルクリックした場合	メッセージ画面の「OK」を押して、再度インストールまたはアンインストールを行ってください。
Tempフォルダに不要なファイルが残っている場合	メッセージ画面の「OK」を押してください。Temp フォルダ（C:¥Documents and Settings¥“現在のユーザー名”¥Local Settings¥Temp）のファイルをすべて消去または他のフォルダに移動してください。その後に、再度インストールまたはアンインストールを行ってください。

コマンドリファレンス

(1) S レジスタ

S レジスタの設定方法
“AT” に続いて “Sn=X” を入力する。
(n:レジスタ番号、X:設定値)
Sレジスタ参照方法
“AT” に続いて “Sn?” を入力する。設定値が表示される。(n:レジスタ番号)

レジスタ	機能	単位	初期値	設定範囲
S3	CRキャラクタコードの設定	—	13	13のみ
S4	LFキャラクタコードの設定	—	10	10のみ
S5	BSキャラクタコードの設定	—	8	8のみ

(2) リザルトコード

数字	文字	説明
0	OK	コマンドを正常完了
1	CONNECT	相手モデムと接続
3	NO CARRIER	キャリアが検出できない
4	ERROR	コマンドエラー
29	DELAYED	発呼規制中

(3) AT コマンド一覧

AT コマンドの入力方法
ATコマンドは、“AT” に続いて “コマンド” と “パラメータ” を入力する。
(例)ATE1
(コマンドエコーをありに設定する)
＊は初期値

コマンド	機能	説明
A/	コマンドの再実行	直前のATコマンドを再度実行する
ATD	ダイヤル	オフフックし電話番号をダイヤルする
ATEn	エコー処理	コマンドエコー有無の設定 n=0 コマンドエコーしない ＊n=1 コマンドエコーする
ATQn	リザルトコードの制御	＊n=0 リザルトコードを返す n=1 リザルトコードを返さない
ATVn	リザルトコードの選択	n=0 数字形式 ＊n=1 文字形式
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態に初期化する
AT&Cn	CF(DCD)信号の制御	n=0 常時ON ＊n=1 相手モデムのキャリアを検出したときON
AT&Dn	CD(DTR)信号の制御	n=0 CD信号を無視して、常時ONとみなす n=1 CD信号OFFによりオンラインコマンド状態へ移行 ＊n=2 CD信号OFFにより回線を切断しオフラインコマンド状態へ移行
AT&F	工場出荷時設定への初期化	各種コマンドのパラメータ値やSレジスタの内容を工場出荷時に戻す